

地域に視点をあてた事業展開 [高年]

社会福祉法人が出店するアンテナショップとしての情報発信と地域貢献

地域へのアンテナショップと保健・医療・福祉の相談窓口として地域大型ショッピングセンター内に介護用品店を出店し、当法人とショッピングセンターとでの「異業種間コラボレーション」活動に取り組んでいる。地域に密着した事業体制を構築し、地域ボランティアの発掘や次世代の福祉・介護を担う若手人材育成などに資する企画をし、地域に向けた情報発信を行っている。

鳥取県

社会福祉法人

こうほうえん

〒683-0804 鳥取県米子市米原2-1-1 ホープタウン3F

TEL: 0859-37-3365 FAX: 0859-37-3369

◇法人設立年

昭和61年

◇法人実施事業

- ①経営施設（事業）数：169事業
- ②経営施設・事業の種類：
特別養護老人ホーム…7、介護老人保健施設…3、ケアハウス…5、訪問介護…2、訪問入浴介護…2、訪問看護…3、訪問リハビリテーション…1、通所介護…12、療養通所介護…4、短期入所生活介護…7、特定施設入居者生活介護…4、福祉用具貸与…1、小規模多機能型居宅介護…3、認知症対応型共同生活介護…8、居宅介護支援…9、生活支援ハウス…2、高齢者優遇賃貸住宅…1、リハビリテーション病院…1、保育所…5、他

◇法人の理念・経営方針

〈理念〉

「わたしたちは 地域に開かれた 地域に愛される 地域に信頼される 『こうほうえん』を目指します」

〈基本方針〉

「わたしたちはサービス業のプロとして正しい情報を伝達し、自分が受けた保健・医療・福祉サービスの提供・改善に努めます」

◇取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

生きいきケアショップ 暖だん倶楽部

【施設種別及び利用定員】

福祉用具貸与

◇活動内容

- 活動開始年
平成21年4月
- 活動の対象者
地域住民・利用者
- 活動の頻度・時間
地域貢献活動…随時（依頼内容で実施）
情報発信…毎日

◇活動実施の背景、実施にいたった理由

当法人は、地域へのアンテナショップと保健・医療・福祉の相談窓口として、地域大型ショッピングセンター「ホープタウン」に平成14年11月、介護用品店「生きいきケアショップ暖だん倶楽部」を出店した。平成20年からは、地域に密着したサービス提供を展開するためにこうほうえんとホープタウンとで「異業種間コラボレーション」活動を開始し、合同で「介護の日」のイベントを開催している。

地域に密着した事業体制の構築や地域との協力体制を強化していく活動を行い、地域貢献を進め、「介護の日」合同イベントを当法人・ホープタウン・地域住民が一体となって開催し、活動内容を報告することで、地域に向けた情報発信をしていくことが目的である。

◇実施内容

- ①当法人の施設を利用してホープタウン出張販売会を月に4回（2施設・各2回）継続して開催している。施設利用者、地域住民等にご利用いただいている。
- ②各種イベント（こうほうえん内外問わず）に参加し、イベントの手伝いをするとともに、最新の福祉機器の紹介・認知症予防飲料の試飲などを実施している。
- ③ホープタウン内介護用品店舗に年中無休で相談員が常駐することで、行政機関・各専門事業所の紹介・取次ぎを行い、地域住民の要望・苦情を収集し報告をする。
- ④研修会の講師をすることで、人材育成を図る。
- ⑤地元企業・住民に対して開催されている認知症サポーター養成講座に参加・協力する。
- ⑥ホープタウン内にリハビリ強化型デイサービスを開所する。
- ⑦「介護の日」合同イベントを、昨年築き上げた「線」（当法人とホープタウンの協力体制）に地域住民・ボランティアがさらに参加する形で開催する。当法人の各事業所が行った地域貢献活動を情報発信し、地域住民に周知することで、「線」を中心とした地域との協力体制強化が「面」

(地域住民やボランティア等の幅広い参加・協力) へとつながるよう企画する。

◇活動効果(利用者や職員、地域などの反応、影響)

- ①交通手段等が無く自分自身で買い物に行けなくなった方から買い物ができると喜ばれた。2年間継続して販売会を実施した結果、利用者の希望に合わせた商品の品揃え・注文が可能になったと同時に、ご利用者とホープタウン職員が売り手と買い手という関係から、個人と個人の関係に変化し、信頼関係が構築できた。
- ②認知症予防教室、公民館祭、各事業所のイベントなどに参加し協力していくことで、地域との信頼関係が深まった。地元企業との連携も構築できた。
- ③ホープタウンに買い物に来た地域住民が気軽に相談できる地域に密着した相談窓口を開設し、行政・各事業所などと連絡・調整することでの地域貢献が出来た。
- ④専門職として、人材育成に協力することができた。
- ⑤地域企業・地域住民に認知症について正しい知識を伝達し、地域での認知症サポート体制の構築に協力できた。
- ⑥地域住民の要望(地域に気軽に通えるリハビリ施設が欲しい)に応えるべく、平成22年10月にホープタウン内にリハビリ強化型デイサービスを開所した。
- ⑦こうほうえんとホープタウンの職員とボランティアで実行委員会を立ち上げ、より効果的に地域住民に参加いただき、情報発信もできるように準備中である。

◇今後の展開

今後も社会福祉法人が出店するアンテナショップとして、地域に当法人の活動を情報発信していく必要があると考えている。

また、当法人の各事業所が行った地域貢献活動を「介護の日」合同イベントを通じて結び付け、「線」から「面」へつながる地域貢献活動に変えていけるように、イベント終了後に役員で話し合いを行っている。新しい協力体制を構築していくことが必要であると考えている。

従って、今まで築き上げたホープタウンとの協力体制の継続と更なる充実を図りながら、行政、

各事業所、地域住民との協力体制を強化できるように、地域に向けたイベント等にできる限り参加・協力し続けていくことが必要である。そのことが地域に対しての貢献活動を進め、地域との信頼関係を構築する上で大切であると考えている。



◇主な経費や財源及び人員等

- ・取り組みにかかわった職員数 約20名
(職種等：福祉用具プランナー、介護支援専門員、看護師、介護士、相談員)